

太平洋国立大学（ロシア連邦ハバロフスク市）学生招へい

「ハバロフスク森林学習プログラム」写真報告

日程：2015年10月6日（火）～13日（火）

参加者：ヴィヴォツェフ・ニコライ教授（66）〈自然利用環境学部 森林利用技術景観建築学科 学科長〉
アフメトガリエヴァ・ヴァレンティナ（23）ドリドゲル・エレナ（22）ゼンキナ・オリガ（21）
プルドニコヴァ・マリヤナ（24）モルチャノフ・ニキータ（22）サフチェンコ・アンナ（25）
スタルノヴァ・ナタリア（20）シェルビナ・デニス（23）リャビコフ・ユーリー（22）セメンツォヴァ・
アナスタシア（21）小林亮介（33）〈自然利用環境学部 博士課程所得単位取得 インストラクター〉



10月6日（火） ハバロフスク発 11:50（S7航空567便）にて、予定より早めの13:05に成田空港到着。
共催の日露青年交流センター大久保加菜さんと本江一郎先生、協会理事長および横山有道さん（東京外国語大学）
が出迎え。チャーターバスにて神奈川県藤沢市の日本大学生物資源科学部のキャンパスに向かう。同地にて宿泊。





10月7日(水) 日本大学生物資源科学部森林資源科学科の鍛代邦夫先生のゼミおよび森林レクリエーションの授業に参加。招へいメンバー全員がそれぞれの研究内容等を発表。ニコライ先生にも講演を頂く。

夕方には、同大学構内にて歓迎会を開催。森林資源科学科の学生達と歌を歌ったり、会話を楽しんで交流する。



10月8日(木)

午前中、大学構内の食品加工実習所のソーセージ製造・鍛代先生関連の実験室や研究室を見学。午後には藤沢市内の都市緑化の視察を行う。



10月9日(金)

10:00に大学を出発して、下田にある同大学の臨海実験所に向かう。途中に、太平洋の海岸林や茅ヶ崎の砂防林を見学。ディアナ号についてのDVD「幕末のスパシーボ」を観て貰う。

10月10日(土)

6:00より早朝実習にて実習林内の下草刈りを行う。朝食後、玉泉寺に向かい、1854年の安政東海地震の津波で被災したプチャーチン率いるロシアのフリゲート艦ディアナ号の乗組員3名の墓参を行い、献酒・献花・国歌斉唱を実施。その後、生物試料採集船に乗せて頂き、下田の街を海から眺める。

午後には、海岸にて日大生と共に自炊でバーベキューを行い、イセエビなどをいただく。下田の日露協会の方々にも参加していただく。臨海実験所にて宿泊。

10月11日（日）

チャーターバスにて、下田から戸田に向かう。下田街道を通り、東京営林局の杉林を車窓見学して、浄蓮の滝で休憩してワサビ田を視察。戸田造船郷土資料館でディアナ号関係の資料等を見学。ボランティアガイドの説明を受けると共に、ニコライ先生より船の鐘の重要性を伺う。三島に出て、新幹線にて東京に向かう。飯田橋にあるホテルメトロポリタンエドモントにチェックインして、夕食は、高層のセントラルプラザビルで過ごす。



10月12日（月・祝）

ニコライ先生は、学生と別行動で八芳園の日本庭園や夢の島を視察。

学生は、東京外国語大学のロシア語学科の学生と都内散策を楽しむ。午前中、武蔵野市長時代にハバロフスク工科大学（現・太平洋国立大学）に環境に関する寄付講座を開設した土屋正忠総務副大臣の事務所を訪問。国会議事堂内の見学をさせて頂く。その後、お台場にある日本科学未来館を見学。ダイバシティ・パレットタウンで買い物を楽しみ、日の出桟橋より水上バスに乗船して、隅田川下りで浅草に向かう。ロシア人学生の自撮り棒を使って写真を撮ったり、仲見世でお土産を選んだりして、夕食は食べ放題の店で焼肉や寿司、スイーツなどを楽しんだ。急ぎよ渋谷も訪れて、ハチ公の銅像や渋谷の交差点で記念写真を撮った。

10月13日（火）

ソウルとバルセロナに向かう学生2名は大久保さんの引率で東京駅から成田空港に向かい、第2ターミナルでソウル便の学生を協会理事長が見送る。その他のメンバーはチャーターバスにて車中からの市街地緑化の説明を受けながら成田空港に向かい、14:25発S7航空568便で、ハバロフスクに帰国。ハバロフスク18:20着。

報告者：NPO法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会 理事長 安藤栄美